

総合戦略会議からの提案

平成27年度に策定した「志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、産・官・学・金・労、各分野の市民等により構成された「志木市総合戦略会議」にて、進捗状況や効果の検証等を行ってきたところです。

本提案は、「志木市総合戦略会議」において提案されたものをまとめたものとなっておりますので、今後の予算編成や新規事業の企画立案をする際の参考としてください。

【提案：民間活力の更なる活用について】

【提案1】市と民間事業者との対話の実施

社会情勢の変化による市民生活の多様化は進み、市民ニーズはより複雑で専門的なものへと変化しつつあり、これに対応するためには、ノウハウをもった民間事業者を積極的に活用していく必要がある。また、より質の高いサービスの提供を行うためには、民間事業者のアイデアを取り入れることも重要であり、このためには、市と民間事業者が対話を行うことができる場を作り、積極的な意見交換を行うことが必要である。

(1) 対話の対象となる事業の見極め

次の①～⑤の検討をしたうえで実施してほしい。

- ①課題となっているものは何か。
- ②市で実施しなければならない事業なのか。民間活力の活用が適する事業なのか。
- ③行政が求めるものは何か。
- ④市民が求めるものは何か。
- ⑤地域経済の活性化を図ることはできるのか。

(2) 対話を実施する際の留意点

▶ 案件形成段階

新規事業を検討する際は、民間事業者から見た事業の市場性の有無を確認し、事業の有効性や実現可能性、事業手法等について確認を行うとともに、民間のアイデアを市の事業に取り入れることで、低廉かつ質の高い市民サービスとなるようにしてほしい。

▶ 民間事業者募集段階

事業者を募集する段階においては、民間事業者の参加意向を把握し、より民間事業者がノウハウを活かすことができる募集条件を設定してほしい。

【提案2】シティプロモーションの推進

全国的に人口減少社会が進展していく中であっても選ばれ続ける自治体になるために、ロケーションサービスの推進や市民力を活用した広報しきの発行などを含め、志木市の魅力を市内外に発信する取組を行ってほしい。